

科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会（第24期・第5回）

議事録

1. 日時 平成30年10月13日(土) 09:00-09:50
2. 会場 東京ビッグサイト（東京国際展示場）701・702会議室
3. 議題
  - (1) 前回議事録確認
  - (2) Nation's Synthesis の推進について
  - (3) 関連国際・国際連携活動の報告と予定
    - 1) 2018年7月 アジア防災閣僚級会議（ウランバートル）
    - 2) 2018年10月 防災推進国民大会2018（東京ビッグサイト）
    - 3) 2018年10月 成都会議（成都）
    - 4) 2018年12月 アジア学術会議（日本学術会議）
    - 5) 2019年5月 グローバルプラットフォーム2019（ジュネーブ）
  - (4) グローバルレジリエンス会議(2017年11月)特集号(JDR)
  - (5) その他
4. 配布資料

資料 24-05-01	前回(第4回)議事録
資料24-05-02a	防災減災連携研究ハブ構想
資料24-05-02b	初期段階_synthesis_priority_1
資料24-05-02c	初期段階_synthesis_priority_2
資料24-05-02d	初期段階_synthesis_Nation's Synthesis
資料24-05-03a	アジア防災閣僚級会議
資料24-05-03b	防災推進国民大会2018
資料24-05-03c	公開シンポジウム「災害からあなたを守る科学技術との対話」
資料24-05-03d	成都会議コンセプトノート
資料24-05-03e	アジア学術会議への投稿
資料24-05-03f	グローバルプラットフォーム
資料24-05-04	特集号(JDR)準備状況
5. 出席者 19名（敬称略、名簿順）

小池俊雄、春山成子、大西隆、春日文子、川崎昭如、小松利光、小森大輔、佐竹健治、  
寶馨、塚原健一、西嶋一欽、望月常好、山川充夫、天野雄介、小野裕一、田村圭子、西川  
智、西口尚宏、ラジブショウ

陪席者 1名  
池田鉄哉（ICHARM）

---

**(1) 前回議事録確認 (資料24-05-01)**

- ・ 前回議事録「8) 2019年5月 グローバルプラットフォーム 2019 (@ジュネーブ)」に関して、もともとは2018年6月に抽出されて8月に原稿提出予定であったが、現状はまだ事務局で Abstract をチェックしており抽出されていないとのこと。
- ・ 渡辺美代子委員より委員を辞任されたい旨ご連絡があり、承諾された。
- ・ 配布の資料 24-05-02a および資料 24-05-04 は非公開とする。

---

**(2) Nation's Synthesisの推進について****(資料24-05-02a)**

- ・ Nations synthesis に関して日本が何を示すかについて答えるために、「防災減災連携研究ハブ」設立の準備を進めている。
- ・ IRDR の第 22 期・23 期の大型研究で申請した内容が基盤（重点化されたが、採択はされなかった）。
- ・ 成都会議では、このような方向で進めることを報告する。
- ・ 併せて、(資料 24-05-02b・24-05-02c・24-05-02d) をタスクフォースで作成している。
  - (資料 24-05-02b) は JDR 掲載予定論文から切り貼りしたものであり、詳細は論文に記載。
  - 成都会議までに、各 WG で同様の表を作って欲しい。
  - あくまでも、たたき台という位置づけ。試行的にやっけていき上手いきそうであれば、「防災減災連携研究ハブ」の各機関に記載を依頼する。

---

**(3) 関連国内・国際連携活動の報告と予定****1) 2018年7月 アジア防災閣僚級会議 (ウランバートル)****(資料 24-05-03a)**

- ・ UNISDRの水鳥真美代表が、防災と気候変動に関するインプットを欲しがっている。
- ・ 今までと違う（外力が違う、社会が変わってきている）、それを理解するための科学・技術が必要であるということを明確に打ち出す必要がある。

**2) 2018年10月 防災推進国民大会 2018 (東京ビッグサイト)****(資料24-05-03b) (資料24-05-03c)****3) 2018年10月 成都会議 (@成都)****(資料24-05-03d)**

- ・ 昨年の東京会議で議論したNational PlatformやSynthesisの議論に加えて、UNISDRのロードマップについての議論をやることになったという点が、当初の予定と異なる。
- ・ Breakout sessionの共同議長は、林先生にお願いしている。
- ・ Plenary 2のIRDR NC Japanの発表は、IRDR分科会から報告していただく。  
→寶先生から資料を提出していただく。

**4) 2018年12月 第18回アジア学術会議 (@乃木坂)**

(資料24-05-03e)

- ・非常に多くの応募があったが、発表数の上限の変更はできなかったため、ポスター発表をお願いすることになった。
- ・当日は発表者と議長しか会場に入って行けない。すなわち、聴衆は会場に入れない（日本学術会議事務局と相談したが、変更できない）
  - 佐竹委員、塚原委員 → 口頭発表
  - 林委員、田村委員、西川委員、天野（川崎）委員 → ポスター発表

#### 5) 2019年5月 グローバルプラットフォーム2019 (@ジュネーブ)

(資料24-05-03f)

- ・非常に限られたサイドイベントのスペースを有効に使えないかについて、ラジブ先生と相談している。
  - IRDR, IRDE, SCJにてセッション提案を出したい。
  - ラジブ先生が主導する科学・技術会議では、アライズなどの企業や市民参加も一緒になって科学・技術に関するイベントを企画予定である（5/13-14）。

---

#### (4) グローバルレジリエンス会議(2017年11月)特集号(JDR)

(資料24-05-04)

---

#### (5) その他

- ・ Future Earth, IRDR, WCRPが共同で設置したThe Knowledge Action Network for Emergent Risk and Extreme Events (Risk KAN)が、Development TeamならびにWorking Groupのメンバーを公募中（メ切11月15日）。ぜひ日本からもご応募いただきたい。
  - <http://www.futureearth.org>
  - <http://www.futureearth.org/news/call-participation-knowledge-action-network-emergent-risk-and-extreme-events-seeks-members>
- ・ 2019年5月 グローバルプラットフォームまでに、あと2回本委員会を開催したい。
  - 成都会議後と、2～3月ころ。

表 防災・減災政策の国際的展開に関連する国際会議（開催順）

#	会議名	期間	開催地	備考
1	第2回災害リスク軽減のためのアジア科学技術会議	2018/4/17-18	中国・北京	
	関連 URL : <a href="http://www.astcdrr2018.org/">http://www.astcdrr2018.org/</a>			
2	汶川地震10周年シンポジウム	2018/5/12-14	中国・成都	
	関連 URL : <a href="http://www.4thicce.com">http://www.4thicce.com</a>			
3	Water for sustainable development	2018/6/20-6/22	ドゥシャンベ	廣木委員が運営委員
	関連 URL : <a href="https://wsdconf2018.org">https://wsdconf2018.org</a>			
4	アジア防災閣僚級会議	2018/7/3-7/6	モンゴル・ウランハートル	
	関連 URL : <a href="https://www.unisdr.org/amcdrr2018/">https://www.unisdr.org/amcdrr2018/</a>			
5	防災推進国民大会 2018	2018/10/13-10/14	東京ビッグサイト	

	<a href="http://bosai-kokutai.jp/">http://bosai-kokutai.jp/</a>			
6	成都会議	2018/10/16-10/17	中国・成都	
7	第 18 回アジア学会議	2018/12/5-12/7	日本学会議	
	<a href="https://sca18.mediatelier.com/">https://sca18.mediatelier.com/</a>			
8	グローバル・プラットフォーム	2019/5/13-17	スイス・ジュネーブ	
	関連 URL : <a href="https://www.unisdr.org/we/coordinate/global-platform">https://www.unisdr.org/we/coordinate/global-platform</a>			
9	第 17 回世界地震工学会議	2020/9/14-18	日本・仙台	日本政府観光局（JNTO）主催の「平成 29 年度国際会議誘致・開催貢献賞」で誘致の部で受賞
	関連 URL : <a href="http://www.jace.gr.jp/jp/wp-content/uploads/2016/12/bid_17WCEE_161116_20mb.pdf">http://www.jace.gr.jp/jp/wp-content/uploads/2016/12/bid_17WCEE_161116_20mb.pdf</a> <a href="https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/20180201_2.pdf">https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/20180201_2.pdf</a>			